

有機食品の輸出拡大に向けた 各地の取組事例集

輸 出 編

(国際認証取得等支援事業のうち有機JAS認証取得等支援の活用事例)

令和3年2月
生産局農業環境対策課

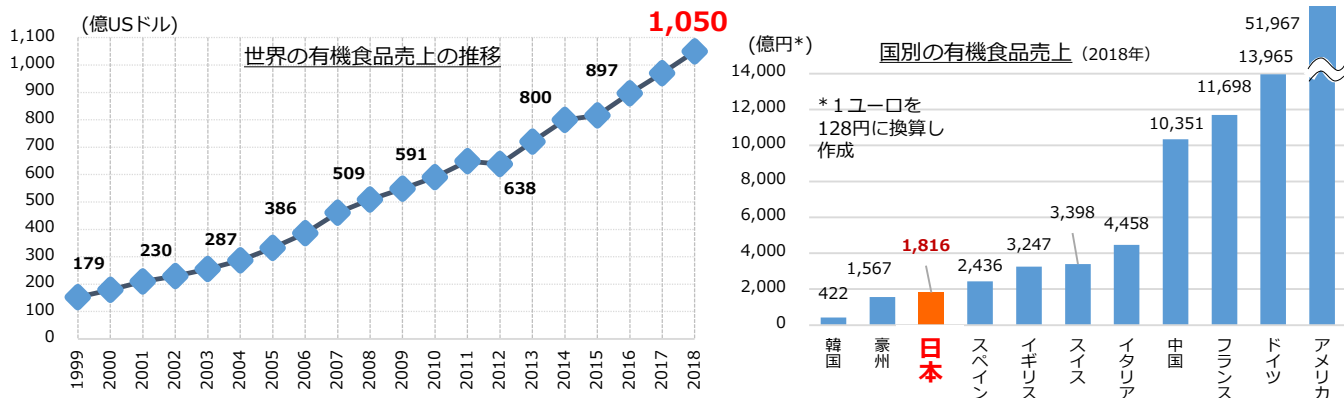
農林水産省

世界での有機食品の売上の状況等について

世界の有機食品の売上の状況

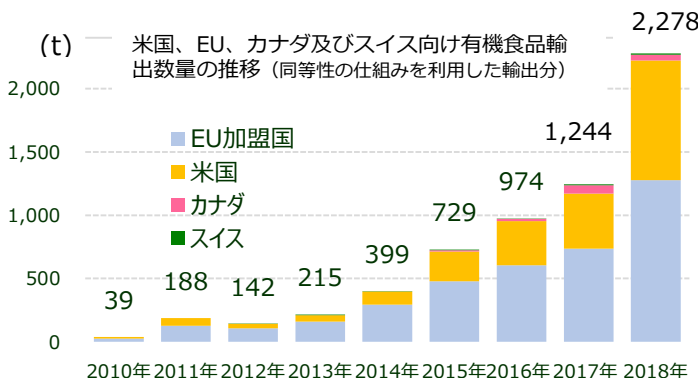
※FIBL&IFOAM The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2008~2020をもとに、農業環境対策課作成

- 世界の有機食品売上は増加し続けており、2018年では約1,050億ドル（約11.6兆円/1ドル=110円）。
- 米国の売上は5兆円超、独、仏等は1兆円超。日本は中国に次いでアジア2位、世界では13番目の有機食品市場規模。



有機食品の輸出の動向

- 日本からの有機食品の輸出額は、近年急激に増加。
- 有機茶、有機しょうゆ等の輸出量が多い。

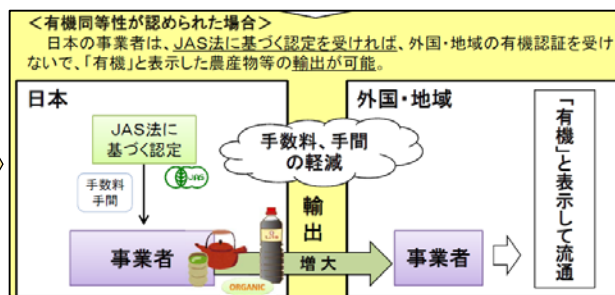
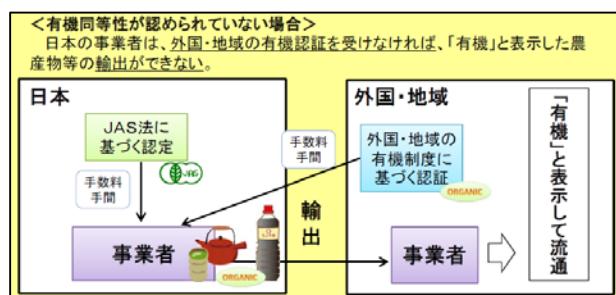


2018年の主な有機食品の輸出数量
(同等性の仕組みを利用した輸出分)

品目	輸出数量
茶	754 t
こんにゃく	99 t
梅加工品	48 t
味噌	84 t
しょうゆ	1,109 t

有機同等性の仕組みについて

- 有機食品の売上が多い欧米諸国等では、その国・地域の有機規格への適合性が認められた産品でなければ、「有機」「オーガニック」等の名称用いた表示を行うことができない。
 - 一方、他国・地域との間で、有機の認証体制等について「同等性」が認められれば、他国・地域の有機認証を、自国・地域の有機認証と同等のものとして扱うことが可能とされている（これを「有機食品の同等性」という）
 - この仕組みの下、日本では有機JAS認証を取得した食品のうち一定の要件を満たすものを米国やEU等に輸出した場合、米国やEUの有機認証を取得しなくとも、「有機」「オーガニック」等の名称を表示に用いて販売が可能。
- ※ なお東南アジア等一部の国では、「有機」等の表示の規制が異なり、「同等性」がなくとも、有機JAS認証を受けた食品のうち一定の要件を満たすものについて、「有機」等と表示して販売することが可能な場合もあります。



国際認証取得等支援事業

【平成30年度第2次補正予算額 152百万円】

<対策のポイント>

EU諸国等に対する有機農畜産物・加工品等の輸出拡大に向け、有機JAS認証及びGAP認証の取得や商談等の取組を支援します。

<政策目標>

- 農林水産物・食品の輸出拡大（8,071億円〔平成29年〕→ 1兆円〔平成31年まで〕）
- 全耕地面積に占める有機農業の取組面積割合：1%
- GAP認証について、平成29年4月時点の3倍以上の認証取得〔平成31年度末まで〕

<事業の内容>

1. 有機JAS認証取得等支援

- 有機農畜産物・加工品等の輸出拡大に向け、農業者等による有機JAS認証の取得や、輸出向け商談、商品開発、農業機械リースの取組を支援します。

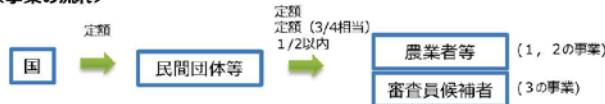
2. GAP認証取得等支援

- 農産物の輸出拡大に向け、農業者等によるGAP認証（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP）の取得や、輸出向け商談、農業機械リース等の取組を支援します。

3. GAP認証審査員育成支援

- GAP認証取得拡大のボトルネックとなっているGAP認証審査員の確保に向け、審査員候補者に対する研修受講を支援します。

<事業の流れ>

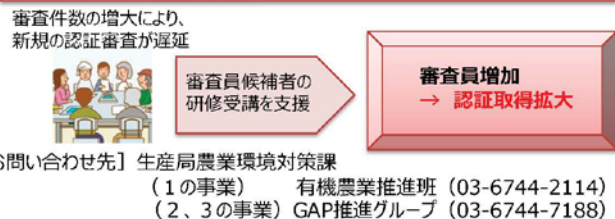


<事業のイメージ>

1 及び 2 有機JAS認証、GAP認証取得等支援



3 GAP認証審査員育成支援



有機農畜産物・加工品等の輸出拡大に向けた取組実績等の事例

本事例集で紹介する事例

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 株式会社流通サービス（静岡県） | 6 光食品株式会社（徳島県） |
| 2 有限会社丸新柴本製茶（静岡県） | 7 くまもと農業成長産業共同組合（熊本県） |
| 3 株式会社和田萬（大阪府） | 8 杉本商店有機出荷者協議会（宮崎県） |
| 4 株式会社ゼンヤクノー（鳥取県） | 9 有限会社かごしま有機生産組合（鹿児島県） |
| 5 センナリ株式会社（広島県） | |

1. 株式会社流通サービス（静岡県菊川市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：茶（抹茶、玉露、煎茶）
- 生産面積：6ha
- 生産額：年間2億5千万円
- 事業実施主体の構成員：10人



事業を活用した成果（2019年度）

有機JASを取得した事により、各種展示会へ出展して、セールス及びモニタリングを行って来ました。その結果EUを中心に引合いが多くあり、現在も15件と商談中です。

- 2019年 9月 SANA（ボローニャ）
10月 ANUGA（ケルン）
10月 JETROウィーン商談会
2020年 2月 BIOFACH（ニュルンベルグ）
2月 GULFOOD（ドバイ）

取組のポイント（2019年度～）

■「オンリーワン」な商品の開発

- ・有機、無農薬を基本に健康面を強化したお茶、香りを強化したお茶等を開発して、新たな顧客を発掘
- ・海外での抹茶の普及をする為にセミナー等を行って来ましたが、有機、無農薬の引合いが多く、既存の顧客からも要請があった為有機JAS認証を取得しました。

一言アピール！

安心、安全で「Only One」なお茶を造っています。栽培から製造、パッキングまで一貫生産をしていますので、OEM等、ご希望がありましたらお問い合わせください。



問合せ先：
株式会社流通サービス
TEL:05-3735-6868



2. 有限会社丸新柴本製茶（静岡県牧之原市）

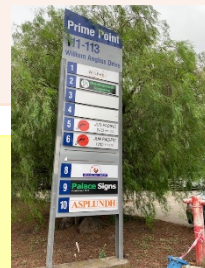
事業実施主体の概要

- 生産している品目：緑茶・抹茶
- 生産量：年間133 t
- 生産額：年間9,955万円
- 事業実施主体の構成員：10人



事業を活用した成果（2019年度）

- ・輸出商材の問合せ件数：2件（2018年度から2件増加）
- ・輸出に向けた商談件数：4件（2018年度から4件増加）



取組のポイント（2019年度～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・オーストラリアにおける実需者の意向調査を行った結果、オーガニックの緑茶・抹茶の需要が見込めたため、新たに有機JAS認証を取得。

■オーストラリアへの輸出に向けた取組

- ・緑茶・抹茶を輸出するため、令和2年1月にオーストラリアの現地企業との商談を4回行い、日本国内の流通業者を紹介いただいた。令和2年度の輸出実施に向け商談継続中。



一言アピール！

1912年から続く、茶の栽培から製茶までの伝統技術とご要望に合わせたオリジナル茶開発の柔軟性を大切にしています。

日本茶・抹茶の輸出をお考えでしたらお問合せください。 <https://mizutama-teafarm.com/>



問合せ先：
有限会社丸新柴本製茶
TEL:0548-22-7770

3. 株式会社和田萬（大阪府大阪市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：ごま、ごま加工品、七味
- 生産量：年間1,000 t
- 生産額：年間10億円
- 事業実施主体の構成員：21人



事業を活用した成果（2019年度）

- 2019年9月 マレーシアの展示会（FHMに出展）
- 2019年11月 “日本の食品” 輸出EXP0に出展
 - ・輸出商材の商談件数 30件
 - ・輸出に向けた具体的な商談件数 5件



“日本の食品”輸出EXP0にて

取組のポイント（2019年度～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・海外の顧客から要望調査をした結果、日本のスパイスである七味が有機であれば興味があるという回答があったため、有機JAS認証の七味を開発した。

■有機ゆず七味の輸出に向けた取組

- ・有機ゆず七味を輸出するため、令和元年9月と11月にマレーシアでの展示会に出展。東南アジア全般の業者と商談を30件以上行い、輸出に向けて商談を進めている。



一言アピール！

有機にこだわった7つの素材をブレンドした香りの良い「和スパイス」です。輸出向けにはぴったりですので、ご興味があればお問合せください。



問い合わせ先
株式会社和田萬
TEL:06-6364-4387

4. 株式会社ゼンヤクノー（鳥取県鳥取市）

事業実施主体の概要

■事業実施主体の構成員：26人

■活動内容

- ・各種健康茶及び食品の開発・製造・販売
- ・ティーバック包装及び食品のOEM製造



事業を活用した成果（2019年度）

■2019オーガニックセレクション出店

- ・有機JAS商品シリーズ「La SanTEA」
- ・有機JAS、JGAPのはとむぎ茶、紅茶では国産紅茶（和紅茶）を使用したASIA GAPの商品を展示
- ・カタログ配布：60社
- ・通信販売会社フェリシモ様との商談進行中（2020年6月より有機JAS商品シリーズ「La SanTEA」販売予定）



取組のポイント（2019年度～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・海外有機市場への提案に向け非有機から有機原料へ切り替え、新規原料での試作・開発を行い、展示会・商談会にて販路拡大に取り組んだ。
- ・GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）認証を取得した原材料（ハトムギ、和紅茶等）を使用したオーガニック加工品（有機 JAS）や GAP 認証取得した新商品開発を進める。
- ・商社のA社様とアメリカの小売店向けに商談を進めており、健康茶のデザインを作成しているところ。

一言アピール！

当社では、産地が明確な原材料を使い、勤続 10 年以上の熟練したスタッフ による厳しい品質・衛生管理の中で製品化される安全・安心で高品質な商品でお客様の心に応えます！

問合せ先：
株式会社ゼンヤクノー
TEL:0857-28-2521



5. センナリ株式会社（広島県広島市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：酢、ドレッシング、ソース、漬物
- 生産額：年間6億3千万円
- 事業実施主体の構成員：30人



事業を活用した成果（2019年度）

- 輸出金額：約2,500万円（2019年度）
（輸出先国：EU、シンガポール、台湾、アメリカ）
- 輸出金額：約2,100万円（2018年度）

取組のポイント（2019年度～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・オンリーワンの商品を求め、国内有機農産物で、有機すし酢、有機ぽん酢を開発。

■輸出の拡大に向けた取組

- ・BIOFACH、輸出EXPOなど国内外の展示会や出張に出向き販路拡大につなげた。



一言アピール！

自身の目で確認した国産原料をベースに、本物にこだわって商品を作り続けています。

問合せ先：
センナリ株式会社
TEL:082-810-3000

6. 光食品株式会社（徳島県板野郡上坂町）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：有機ジンジャーHOTソース、有機ゆずジャム、有機だいたい使用有機ぽん酢しょうゆ等の有機JAS認証商品や、有機原料を使用したソース・ケチャップ・ドレッシングなどの調味料や飲料
- 売上：年間約16億円 ■社員数：26人

新商品の
有機ジンジャー
HOTソース



事業を活用した成果（2019年度）

- ベルギーの企業と、有機ジンジャーHOTソース含む2商品について大口での輸出商談が進行中。
- イギリスの企業から有機ゆず果汁を受注（約120万円）。
- オーストラリアへの新商品（有機ゆずスプレッド）の輸出を実施（輸出金額：約50万円）。
- オーストラリアへの有機ぽん酢の輸出量が増加。また、弊社商品を現地で小分けして販売する為に大口での商談が進行中
- シンガポールの企業から多品目を受注しており（約60万円分）、年間一定量の輸出商談が成立。



取組のポイント（2019年度～）

■ニーズにマッチした商品づくり

- ・輸出向けの商談会に出展したり、現地に伺って直接海外バイヤーの要望や意見を伺うことにより、ニーズにマッチした商品づくりを行うことができた。



日本の食品輸出EXPO出展ブース

一言アピール！

弊社では自社農園で栽培した有機野菜・果実を含め多くの有機原料を持っており、お客様の要望に対して様々な対応が可能となっております。今後も有機や国産の原料にこだわり、添加物を使用しない食品づくりを行いながら、国産有機農産物を使用した食品の輸出拡大を目指します。

問合せ先：
光食品株式会社
TEL:088-637-6123



7. くまもと農業成長産業協同組合（熊本県合志市）

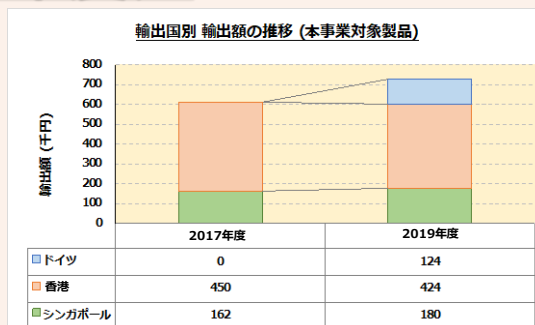
事業実施主体の概要

- 生産品目：紫蘇・大豆・小麦・菊芋・梅、各種加工食品、加工用素材など
- 構成員体制：農業生産法人(有)吉川農園と、加工・販売を行う青紫蘇農場(株)で密に連携をとり、紫蘇の生産から加工品の製造・販売・輸出を行っている。
- ホームページ：<https://shiso.net/>



事業を活用した成果（2019年度）

- 輸出金額（本事業対象のみ）
612千円（2017年）→ 728千円↗（2019年）
うち新規開発品 124千円（2019年）
- 有機圃場
784a（2018年）→ 915a↗（2019年）
- 輸出商談件数
37件/17ヵ国（2019年）



取組のポイント（2019年度～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・世界的なオーガニック食品への関心拡大に向け、本事業にて有機認証を取得した有機小麦粉を活用し、同じく有機認証を取得した有機紫蘇そうめん・有機菊芋そうめんを開発した。またエキスや粉末などの加工用素材の開発を進めており、原材料の需要増大に対応して、有機圃場の拡大も行った。



開発した有機そうめん

■EU、アジア圏への輸出に向けた取組

- ・紫蘇の加工食品をEU圏・アジア圏へ輸出するため、国内外のバイヤーが集まる商談会（“日本の食品”輸出EXPOなど）へ出展した。また、ドイツ・イギリスへ渡航し、市場調査と新規顧客との商談を行い、既存商品・新規商品の輸出を実現した。



商談会へ出展・PR

一言アピール！

熊本県(自社農園)の豊かな土壌と地下水で「紫蘇」を育てています。紫蘇の豊富な機能的成分を活かした安全・安心・美味しい製品を提供しています。紫蘇のことならお任せください！



問合せ先：
くまもと農業成長産業協同組合
(青紫蘇農場株式会社)
TEL: 096-242-4878
E-Mail: info@shiso.net

8. 杉本商店有機出荷者協議会（宮崎県高千穂町）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：乾しいたけ
- 生産量：年間51,118 t
- 生産額：年間377,691千円
- 事業実施主体の構成員：24人



事業を活用した成果（2019年度）

- ・輸出金額：6,766千円（2019年度）
- ・輸出数量：約444kg（2019年度）
（輸出先国：北米、EU、香港、台湾、その他）
- ・輸出商材の問合せ件数：30件（前年度から5件増加）
- ・輸出に向けた商談件数：200件（前年度から50件増加）



取組のポイント（2019年度～）

■需要の把握に向けた取組

- ・海外における実需者の意向調査を行った結果、ベジタリアン、ビーガン嗜好者向けの需要が見込めたため、新たに有機JAS認証を取得。

■海外の輸出に向けた取組

- ・有機認証乾しいたけを輸出するため、令和元年11月に日本の食品輸出EXPOに出展し、輸出につなげた。
- ・海外の展示会へ積極的に参加したことで輸出につながった。



一言アピール！

美味しさにこだわった乾しいたけを世界中で販売しております。輸出商材をお探しでしたらお問い合わせください。

問合せ先：
株式会社杉本商店
TEL:0982-72-3456

9. 有限会社かごしま有機生産組合（鹿児島県鹿児島市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：人参、玉ねぎ、じゃが芋、大根、さつま芋、深ねぎ、ごぼう、他多数
- 生産面積：認証済み圃場面積：170ha
- 事業実施主体の構成員：生産者104名（2020年1月現在）

成果(2018年→2019年)

- 有機JAS認証取得面積：
217ha(2018年)→ 235ha(2019年)
- 輸出金額：
150万円(2018年)→ 560万円(2019年)



取組のポイント（2019年～）

- 有機農産物・加工品への輸出に向けた取組
シンガポール、UAE、東京で商談会に出席し、有機農産物・加工品に対する強い引き合いを感じた。
商談会で多くのバイヤーに恵まれた結果、
【農産物】
香港向け有機農産物の輸出に成功（令和元年9月）
現在では20品目を輸出
【加工品】
クウェートに「オーガニックベビーフード」と「冷凍焼き芋」
ドバイに「オーガニックベビーフード」
の輸出に成功
日本より海外の方が有機農産物、オーガニックの認知度は高いと感じた。
タイへの青果物の輸出にも成功し、少しずつ輸出量が増えてきている。



一言アピール！

安心・安全にこだわってつくった美味しい野菜を
ぜひご賞味ください！

問い合わせ先：
有限会社かごしま有機生産組合
099-282-6867